

IBM Storage Protect for Cloud Azure

組織の Azure ワークロードに
回復力を組み込む

■ ハイライト

セントラル・コマンド
ダッシュボード

柔軟なデータ
ストレージ・オプション

オンデマンドの
詳細なデータ・リカバリー

今日、ランサムウェア攻撃やその他のサイバー脅威が急増しており、IT担当リーダーはデータ保護と災害復旧戦略の再評価を余儀なくされています。ほとんどの組織は、コアのエンタープライズ・ワークロード用にバックアップおよびリカバリーソフトウェア・システムを導入していますが、IaaSやPaaSワークロードのデータを保護するために同様のシステムを導入している組織は多くありません。

IBM® Storage Protect for Cloud Azureは、包括的かつ統合されたセキュリティー機能を使用して、サイバー脅威からデータを保護するための堅固な脅威管理機能を提供します。このソリューションは、高度な脅威分析機能と機械学習機能により、組織がサイバー攻撃を検知し、対応するのに役立ちます。さらに、IBM Storage Protect for Cloud Azureには、バックアップ・データへのアクセスを許可された担当者だけに制限するアクセス制御機能が搭載されており、不正アクセスやデータ侵害のリスクを軽減します。





IBM Storage Protect for Cloud Azureは、包括的なバックアップ機能とファイル単位の詳細なリカバリー機能で、ユーザーがデータを回復できるようにします。

IBM Storage Protect for Cloud Azureのその他の主な機能は次のとおりです。

- IBM Storage Protect for Cloud内でホストされる最新のジョブ、バックアップの範囲および頻度に関する情報のバックアップおよびリストア情報を要約するセントラル・コマンド・ダッシュボード。
- IBMのAzure Cloudストレージまたはクライアントの優先プライベートクラウドにデータを安全に保存する機能。
- Azure Active Directory、Azure Virtual Machines、Azure BLOBのオンデマンドのファイル単位の詳細なリカバリー機能。

セントラル・コマンド・ダッシュボード

IBM Storage Protect for Cloud Azureのパワフルなセントラル・コマンド・インターフェースは、バックアップおよびリカバリーを行うコマンド・センターとして機能します。このダッシュボードは、データ保護活動を効果的に監視および管理するための直感的なインターフェースを提供します。ユーザーは、バックアップ範囲や1日あたり最大4回(または6時間ごと)のバックアップ頻度などの詳細を含む、リアルタイムで更新される、直近のバックアップジョブおよびリカバリー・ジョブの概要にアクセスできます。

このダッシュボードをIBM Storage Protect for Cloud内でホストすることにより、データ保護ワークフローの完全な可視性とコントロールのある、統合・合理化されたエクスペリエンスがもたらされます。

柔軟で安全なデータ・ストレージ

IBM Storage Protect for Cloudを使用すると、データをより安全に保存するための比類のない柔軟性を得られます。IBMのAzure Cloudストレージまたはプライベートクラウド・インフラストラクチャーを活用することで、ユーザーはニーズに最適なストレージ・オプションを選択できます。IBMのAzure Cloudストレージにデータを保存することで、このクラウド・プラットフォームの拡張性と信頼性の恩恵を受けることができます。よりきめ細やかなコントロールとカスタマイズが必要な場合は、プライベートクラウドにデータを保存することで、より柔軟に、具体的なセキュリティー要件やコンプライアンス要件を満たせます。このソリューションは、どのストレージ・オプションを選択した場合でも、データの整合性と安全性を提供します。



オンデマンドのファイル単位の詳細なデータ・リカバリー

IBM Storage Protect for Cloudは、Azure Active Directory、Azure Virtual Machines、およびAzure Blobに詳細なデータ・リカバリー機能を提供します。この機能により、意図しないデータ損失、システム障害、サイバー攻撃などが発生した場合でも、特定のオブジェクトやワークロード全体を迅速かつ効率的に、しかもファイル単位で詳細に復元することができ、ダウンタイムを最小限に抑え、事業継続性を維持できます。ファイル単位で詳細にデータを復元することにより、時間とリソースを大量に消費するフルリカバリーの必要がなくなります。組織が選択したデータのみを復元できるようにすることで、作業にかかる時間が短縮され、複雑さが軽減されます。

まとめ

脅威を取り巻く環境は急速に変化しており、組織のビジネス・データの保護は極めて重要になっています。SaaSが浸透するにつれ、この懸念は一層深刻化します。それは、これらのサービス・プロバイダーが、データの整合性と可用性を確保する責任を明確に制限しているためです。データ保護におけるこうしたギャップは、かつては見過ごすことができたかもしれませんが、クラウドに保存されるビジネス・データが膨大な量に達している現在では、これは重要な点となっています。

IBM Storage Protect for Cloud Azureは、データの高度な安全性とアクセス性を確保したい組織にとって不可欠なバックアップおよびリカバリーソリューションです。セントラル・コマンド・ダッシュボード、柔軟なストレージ・オプション、オンデマンドの詳細なデータ・リカバリー機能を備えたIBM Storage Protect for Cloud Azureは、あらゆる規模の組織にとって理想的なソリューションです。

IBMが選ばれる理由

IBMは、業界をリードするデータ・ストレージ製品とソリューションをはじめとする、ハードウェア、ソフトウェア、およびサービスの膨大なポートフォリオを提供しています。業界リーダーと認識されているIBMが提供する革新的なテクノロジー、オープン・スタンダード、卓越したパフォーマンス、実証済みのストレージ製品およびサービスの広範なポートフォリオは、IBM Storage Protect for Cloudの導入を検討する理由のほんの一部にすぎません。

詳細情報

IBM Storage Protect for Cloudについて詳しくは、IBM担当員またはIBMビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、ibm.com/ja-jp/products/storage-protect-for-cloudでご確認ください。

© Copyright IBM Corporation 2023

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19-21
2023年7月

IBMとIBMロゴは、世界中の多くの管轄区で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたは他社の商標である可能性があります。IBMの登録商標の最新リストは、ウェブサイト(ibm.com/trademark)でご確認いただけます。

Microsoftは、米国およびその他の国々におけるMicrosoft社の商標です。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開しているすべての国で、すべての製品が利用できるわけではありません。

IBM製品およびプログラムを使って他社製品またはプログラムの動作を評価したり、検証する場合は、お客様の責任で行ってください。

本資料の情報は「現状のまま」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとします。

適切なセキュリティ慣行に関する声明: 完全に安全であるITシステムまたは製品は、ないものと考えてください。また、不適切な使用やアクセスを、効果的かつ完全に防止できる単一の製品、サービスまたはセキュリティ対策もありません。IBMでは、いずれの当事者による不正行為または違法行為によっても、いかなるシステム、製品もしくはサービスまたはお客様の企業に対して影響が及ばないことを保証することはありません。

お客様は、自己の責任で関連法規および規則を遵守しなければならないものとします。IBMは法律上の助言を提供することはなく、また、IBMのサービスまたは製品が、いかなる法規もしくは規則をお客様が順守していることの裏付けを、表明ならびに保証するものでもありません。

